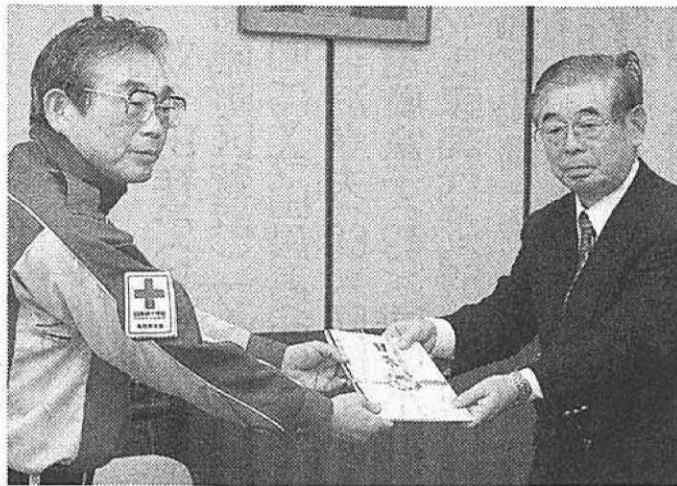


「少しでも力に」県内から善意次々

上下水道復旧へ 備品無償で提供

松江の小松電機産業

回線で上下水道を管理するシステムを全国の自治体に納入。このうち、被災地の福島県南相馬市や茨城県常陸太田市など4県5市町村の上下水道施設で現在、通信が途絶えているという。



木次健悦・日本赤十字社県支部事務局長（左）に義援金の目録を手渡す小松昭夫社長（松江市の小松電機産業で）

提供するのは、被災した上下水道を復旧する際に欠かせない備品など。計画停電で汚水処理などに不具合が生じないようにあらかじめ下水道を制御しておく管理システムなどの開発にも着手した。同社は「被災地復興に向け、少しでも力になりたい」としている。

県立大に募金箱

江津市議は街頭で

（佐藤祐理）

県立大は15日、東日本巨大地震の被災地への義援金を募る募金箱を二つのキャ

ンパスの計7か所に設置した。松江キャンパスで17日、浜田キャンパスで18日に開かれる卒業式の会場にも置き、4月の入学式でも募金を呼び掛ける。

募金箱は、浜田キャンパスの学生会館内の売店、事務室窓口など5か所、松江、出雲両キャンパスでは事務室窓口に置いた。



江津市議会は15日、議員16人全員がショッピングセンターや道の駅など市内4か所で街頭募金を行い、買い物客らに浄財を呼び掛けた。